

P15 経口免疫調節剤による白血球の量的・質的影響 と *H. Pylori* への直接作用

○ ディリシャド・イミド*、松井健一郎、

大川尚子*、緒方祐子、清水昌寿、山田 燦、山口宣夫
金沢医科大学 血清学、*石川天然薬効物質研究センター

【目的】細菌感染に対する対策は寄生体と宿主の両要素から同時に対応することが理想と考える。我々はこれまで経口免疫調節剤を用いて宿主の免疫能力を調節する方向を探ってきた。その結果、腸管感染性微生物に対して生薬製剤等が、宿主の免疫能を量的・質的に調節できるだけでなく試験管内において直接的に接触させると抗菌活性を示すことを報告してきた。今回 *Helicobacter pylori* に対する経口免疫調節剤の直接的及び間接的作用を調べたので報告する。

【対象と方法】 <実験1>生薬製剤等の *H. pylori* に対する抗菌作用

(1) *H. pylori*: 同意を得た胃炎患者から分離した9株を用いた。

(2) 被検薬: 十全大補湯 (JTT)、当帰六黄湯 (TRT)、補中益気湯 (HET)、及びその構成単味生薬 18 種類のエキス末を用いた。

(3) 生薬製剤及び構成単味生薬の MIC 測定:
コロトピア培地を用いた薬剤平板希釈法で測定した。

<実験2>生薬製剤が白血球亜群の構成比におよぼす影響

総白血球において占める白血球亜群に割合によって分類した“顆粒球優位型”の個体には HET を“リンパ球優位型”の個体には JTT を各々 500mg/kg 相当のエキスを30日間毎日経口摂取させ、両個体の白血球亜群の構成比、CD 陽性細胞及びサイトカイン保持細胞について FACSscan を用いて解析した。

【結果と結論】 <実験1>生薬製剤 JTT、HET それに TRT の *H. pylori* に対する抗菌活性を調べた結果、これらの3製剤のうち TRT が相対的に強い抗菌力を示した。構成単味生薬別では黄柏、黄連それに桂皮の抗菌力が強く、いずれも調べた全株に対し $\leq 100 \mu\text{g/ml}$ 乃至 $400 \mu\text{g/ml}$ の MIC を示した。

<実験2>末梢血白血球亜群の構成比により顆粒球型及びリンパ球型に分類された各々のボランティアに生薬製剤を経口投与した結果、HET が顆粒球型、JTT がリンパ球型ボランティアの各亜群の比率を適正化させる作用を示した。